

(17) 診療施設

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、休日や夜間など、多くの医療機関が休診する時間帯に急に具合が悪くなられた方が、身近なところで救急医療を受けられるように、急病診療所を1施設保有しています。

また、通常の時間帯で診療を行う国保大栄診療所を1施設保有しています。

急病診療所

設置目的：本市における急病患者の診療を行うため

国保大栄診療所

設置目的：本市における初期診療及び日常的な病気の外来診療を行う

図表 施設一覧

名称	住所	延床面積 (㎡)	建築年 (年)	構造	運営	備考
1 急病診療所	赤坂1-3-1	486.00	平成16	W造 一部RC造	直営	保健福祉館、こども発達 支援センター、あじさい工 房と同一敷地
2 国保大栄診療所	吉岡289-1	400.00	昭和45	RC造	直営	
計		886.00				

② 診察日・診療時間

<急病診療所>

診療科目	診察日	診療時間
内科・小児科	毎日	午後 7 時から午後11時
	日曜日・祝日、8月13日から15日及び 12月29日から翌1月3日	午前10時から午後 5 時
外科及び歯科	日曜日・祝日・8月13日から15日及び 12月29日から翌1月3日	午前10時から午後 5 時

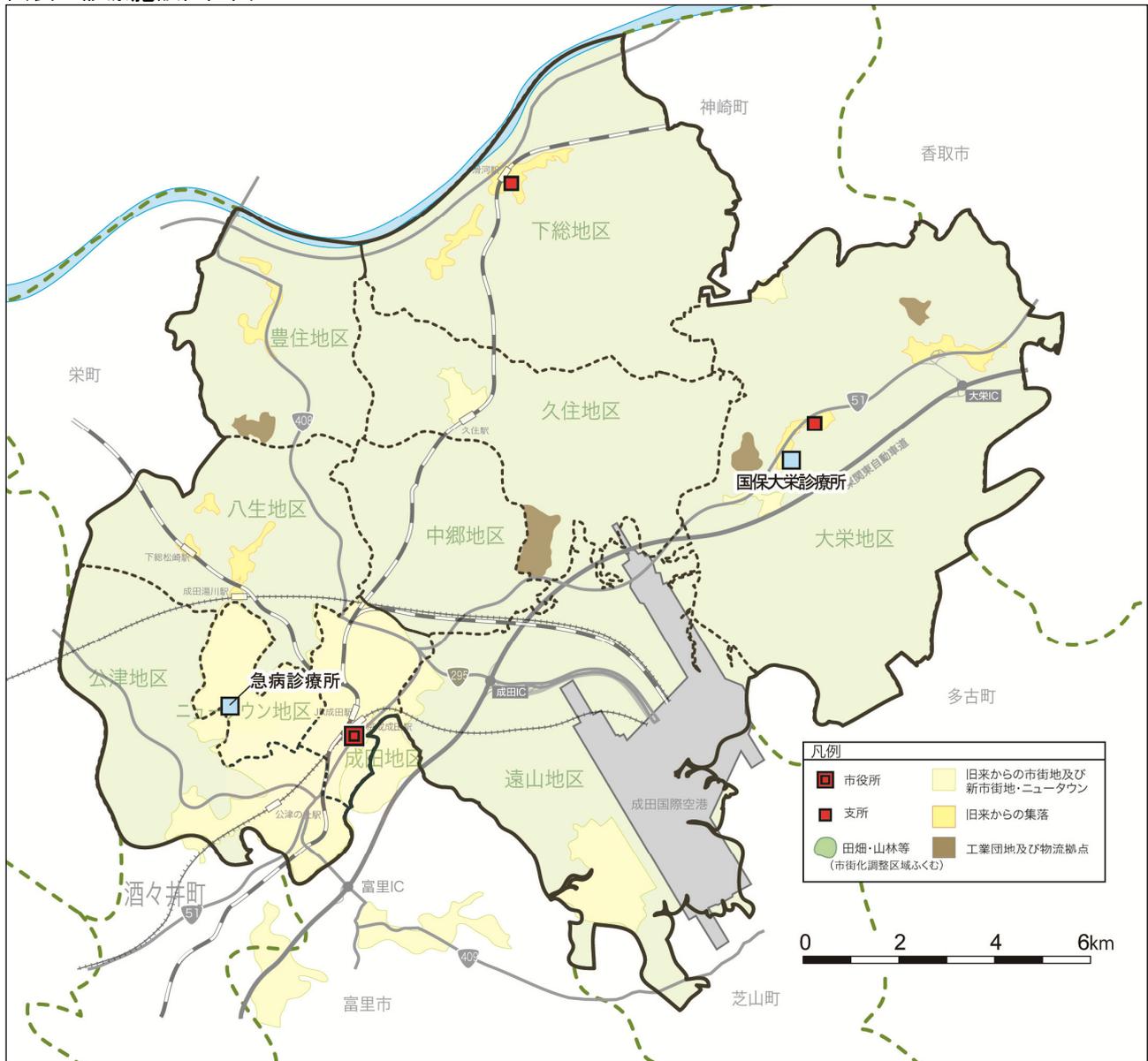
<国保大栄診療所>

診療科目	診察日	診療時間
内科・外科・小児科	診療日：月・火・木・金・土曜日	午前 9時から午前12時
		午後 1時から午後5時
	休診日：水曜・日曜・祝日、8月13日から 15日及び12月29日から翌1月3日	
眼科	診療日：金曜日午後のみ	午後 1時30分から午後4時

③ 配置状況

市が保有している診療施設は、ニュータウン地区に1施設、大栄地区に1施設整備されています。

図表 診療施設位置図



2) 実態把握

① 建物状況

■ 市が保有する診療施設の建物総合評価結果

平成23年度の診療施設2施設の建物状況について、評価を行いました。

図表 建物状況 (平成23年度)

年度	平成23	基本情報		①耐震化	②老朽化			③バリアフリー対応					④環境対応		⑤維持管理							
		建築年	延床面積 (㎡)	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	規模改修後経過年数	エレベーター※1	車いす用トイレ	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	維持管理費(千円)		床面積当たり(円/㎡)		
No.	施設名																光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費
1	急病診療所	平成16	486	—	7	—	7	—	○	—	○	○	○	×	×	×	0	666	0	0	1,370	0
2	国保大栄診療所	昭和45	400	○	41	—	41	—	○	○	×	×	×	×	×	×	112	0	0	280	0	0
合計・平均			886														112	666	0	126	751	0

①、③、④の記載例
 実施済み⇒ ○
 未実施⇒ ×
 不要⇒ —
 ※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等
 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備等

国保大栄診療所は、耐震改修を実施しています。しかし、築30年以上経過しており老朽化が進行しているため、大規模改修等の老朽化対策が必要です。【パターン②】

急病診療所は、比較的新しい施設ですが、環境対応が必要な施設となっています。

【パターン④】

図表 建物総合評価結果

評価	パターン② 老朽化	パターン④ 環境対応
	評価	<p>・老朽化が進行している ⇒建替え又は大規模改修などの老朽化対策の検討が必要な施設</p> <p>優先2 ②老朽化状況</p> <p>振分基準: パターン1以外で ②=1の施設</p>
該当施設	<p>該当施設 国保大栄診療所 建築年 昭和45 < 1施設 ></p>	<p>該当施設 急病診療所 建築年 平成16 < 1施設 ></p>
コメント	<p>・国保大栄診療所は耐震改修工事は完了しているものの、築30年以上と老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。</p>	<p>・急病診療所は比較的新しい施設ですが、環境対応が完了していないため、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。</p>

② コスト状況

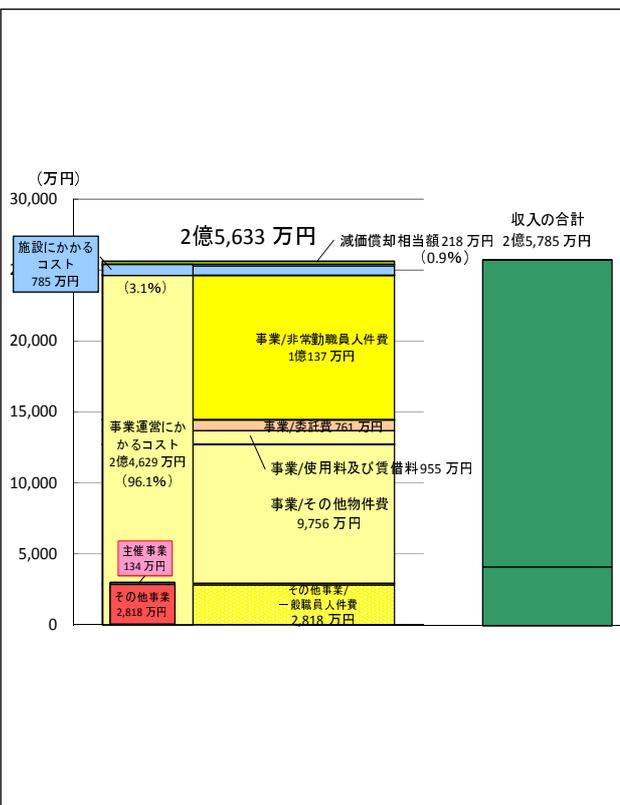
診療施設 2 施設の年間トータルコストは、2 億 5,633 万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（光熱水費、委託料、賃借料等）は 785 万円（3%）、事業運営にかかるコスト（人件費、その他物件費等）は 2 億 4,629 万円（96%）、減価償却は 218 万円（1%）です。

図表 施設別行政コスト計算書（平成 23 年度）

I 現金収支を伴うもの【コストの部】		急病診療所	国保大栄診療所	合計	
施設にかかるコスト	光熱水費	0	1,120,195	1,120,195	
	委託費	6,656,318	0	6,656,318	
	使用料及び賃借料	76,377	0	76,377	
	施設にかかるコスト	6,732,695	1,120,195	7,852,890	
事業運営にかかるコスト	非常勤職員人件費	89,484,778	11,881,334	101,366,112	
	修繕費	307,781	49,980	357,761	
	委託費	1,939,791	5,668,175	7,607,966	
	使用料及び賃借料	5,597,096	3,957,479	9,554,575	
	負担金補助及び交付金	0	322,500	322,500	
	その他物件費	18,517,661	79,041,014	97,558,675	
	事業運営	115,847,107	100,920,482	216,767,589	
	主催事業	車両・備品購入費	0	1,339,330	1,339,330
	主催事業	0	1,339,330	1,339,330	
	その他事業	一般職員人件費	0	28,183,812	28,183,812
	その他事業	0	28,183,812	28,183,812	
事業運営にかかるコスト	115,847,107	130,443,624	246,290,731		
現金収支を伴うコスト 計		122,579,802	131,563,819	254,143,621	
【収入の部】					
収入	診療報酬（窓口負担分）	14,598,390	27,013,780	41,612,170	
	診療報酬（その他）	81,413,614	134,822,036	216,235,650	
	諸収入	2,010	0	2,010	
収入の合計		96,014,014	161,835,816	257,849,830	
II 現金収支を伴わないもの					
コスト	減価償却相当額	0	2,182,436	2,182,436	
III 総括					
コストの部合計（トータルコスト）		122,579,802	133,746,255	256,326,057	
収支差額（ネットコスト）		26,565,788	-28,089,561	-1,523,773	

図表 全施設トータルコスト（平成 23 年度）



施設別トータルコストは、急病診療所が 1 億 2,258 万円、国保大栄診療所が 1 億 3,375 万円となっており、いずれも人件費が大半を占めています。

図表 診療施設 施設別トータルコスト（平成 23 年度）

